

2023年度 第2回 定例会 式次第

開催日時 2023年7月23日（日） 10時 ～ 15時
開催場所 北海道歯科医師会館 2階 視聴覚室

9時57分 司会 挨拶

9時58分 会長 挨拶

10時 ～ 15時

「 演 題 」

歯科治療時に発生する偶発症、合併症
～その背景、病態、対応について～

「 講 師 」



津山 泰彦先生
三井記念病院歯科・歯科口腔外科部長

北日本口腔インプラント研究会

経 歴

平成 3 年 九州大学歯学部卒業

平成 3 年 東京大学医学部附属病院歯科口腔外科研修医

平成 5 年 三井記念病院歯科口腔外科医員

平成10年 東京大学医学部附属病院顎口腔外科・歯科口腔外科助手

平成13年 近畿大学医学部附属病院形成外科病院講師

平成14年 三井記念病院歯科・歯科口腔外科部長

資 格

日本口腔外科学会専門医・指導医

日本先進インプラント医療学会専門医・指導医・常任理事

自分自身が偶発症、合併症を経験したことで、なぜ、そのような状況になったか、そこには技術的な要因とともに術者としての心理的要因もあることが理解できるようになりました。

そのため、その背景をみなさんにお伝えすることで予防につながり、万が一、発症した際に術者の心構え、その対応をシュミレーションしておくことで患者さんとの信頼関係を継続できるのでないかと考えるようになりました。

この講演では、症例を提示しながら、その背景、病態、心構え、対応について解説したいと考えています。

講演内容

1. 偶発症、合併症は、どうしておこるのだろうか？

- 偶発症、合併症を経験しない歯医者はいない。
- ミスは必ずおこることを自覚して、対応を考えておきましょう
- 患者の問題 ～ 全身の問題、局所の問題 ～
- 術者の問題 ～ おごり、忙しさ、説明不足、技術不足～

2. 合併症発生率 No1 下歯槽神経麻痺

- インプラント治療時におこる可能性。
- 術前診断、患者説明の重要性。
- 下歯槽神経麻痺が出現したら、患者さんはわかります。

経験から得られた対策

3. 気腫

- 気腫に最初に気が付くのは患者さんです。

- 空気は体の組織間隙をくまなくすすみます。
- 安心してください。体に入った空気は、必ず、体の外に
でます。

4. 誤嚥、誤飲

- 肺に入っても、患者さんは息苦しさ、せき込みは
おこりません。
- 胸部レントゲン、腹部レントゲンをすぐに撮影して
くれる医療機関と連携しておきましょう。
- 胃に入った異物は、何日で排泄される
でしょうか？

5. 術後感染症

- 術後2日目に分かれ道です。
- 患者さんの基礎疾患があるか、ないかで重症
度が決まります。
- ガス壊疽菌、致死的感染症も
あります。

6. 隣接組織への迷入

- 頑張れば頑張るほど発生する
可能性があがります。
- 見えなくなったら、中断して、患者
さんに状況を正確に説明することが
重要です。
- 上顎洞に迷入したインプラント、
摘出する時期があります。

7. 術後出血

- 血がとまりません。最初に何を
しますか？
- 下顎神経血管束からの出血でもこの
方法でとまります。
- 抗凝固剤、抗血小板剤どんどん
新しい製品がでてきています。